

2019年6月25日

各位

「痛快！明石家電視台」における放送事故について

昨夜から未明にかけて放送いたしました当社のテレビ番組「痛快！明石家電視台」（午後11時56分～午前0時53分放送）におきまして、放送すべきものではない別の放送回が一部放送される放送事故が起きました。放送事故の概要と、現時点で判明している原因等については下記の通りです。視聴者の皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

記

■放送事故が発生した番組と放送時間

「痛快！明石家電視台」（関西ローカル）

2019年6月24日(月) 午後11時56分～午前0時53分放送

■事故の概要と原因

番組冒頭（午後11時56分00秒～午前0時01分39秒の5分39秒間）に、本来放送すべきものではない別の放送回を送出しました。誤って放送されたものは、昨日所属事務所から謹慎処分を受けた宮迫博之さんが出演しているため、放送見送りを決めた放送回でした。昨日午後の処分発表後、別の放送回（今年2月25日放送分）の再放送に差し替えるべく準備していました。

差し替え用の放送素材はDS（データサーバ）へのデータ転送など正常に準備されていました。ところがAPS（自動番組制御装置）の放送運行データが切り替わっておらず、差し替え前のままになっていました。

送出を監視していた社員が不具合に気づき、手動操作で放送すべき素材に切り替え、番組本編・CMとも番組終了まで手動での送出を続けました。午前0時29分45秒から30分02秒までの17秒間、「番組の放送中に一部不体裁がありましたことを お詫び申し上げます」というスーパーを送出しました。

メーカーとともに原因を調査したところ、システムの不具合により本来は自動制御されるデータの切り替えが正常に作動せず、DSとAPSの放送運行データが異なった状態になってしまったことが分かりました。

■再発防止策など今後の対応について

今回の事故は、視聴者の皆さまに高い関心を寄せていただいている中で発生したものであり、差し替えるべき番組も不完全な放送になってしまったこと、誠に申し訳ございませんでした。

不具合の発生を防止することはもとより、不具合が発生した場合にいち早く検知できるよう対策を講じるなど、このような事故を二度と起こさないよう努めます。

以上